

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【公開番号】特開2009-36744(P2009-36744A)

【公開日】平成21年2月19日(2009.2.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-007

【出願番号】特願2007-223232(P2007-223232)

【国際特許分類】

G 01 R 1/067 (2006.01)

G 01 R 31/26 (2006.01)

H 01 L 21/66 (2006.01)

【F I】

G 01 R 1/067 C

G 01 R 31/26 J

H 01 L 21/66 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月30日(2010.7.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

垂直方向に延びる垂直プローブと、垂直方向と交差する方向に延び直線又は曲線形状を有し一端が固定端と接続し他端は該垂直プローブと接続する複数の水平梁とから構成される、リンク機構から成る接触子において、

複数の水平梁の少なくとも1対の相対する水平梁間距離が、前記垂直方向と交差する方向に沿って変化するとともに、

該水平梁間距離が、固定端近傍で最大となり垂直プローブ近傍で最も小となるよう、垂直方向と交差する方向に沿って連続に又は不連続に変化し、また、

前記垂直プローブの先端に直列に回転変形部を有し、該回転変形部は1又は複数の回転中心によりオーバードライブ時に回転し、該回転変形部先端がパッド表面と1点又は限定された範囲内で接触することによりパッド表面と該回転変形部先端に相対的ずれを生じせしめ、スクラブ動作が実施されるべく曲面を有することを特徴とする複数梁成型接触子。

【請求項2】

垂直方向に延びる垂直プローブと、垂直方向と交差する方向に延び直線又は曲線形状を有し一端が固定端と接続し他端は該垂直プローブと接続する複数の水平梁とから構成される、リンク機構から成る接触子において、

複数の水平梁の一部が、被検査半導体に接触する垂直プローブと導電可能に接続されて信号線導通部となり、他の水平梁は被検査半導体に接触する垂直プローブと電気的に絶縁され信号線非導通部となることを特徴とする複数梁成型接触子。

【請求項3】

垂直方向に延びる垂直プローブと、垂直方向と交差して略水平方向に延び直線又は曲線形状を有し一端が固定端と接続し他端は該垂直プローブと接続する複数の水平梁から構成される、リンク構造を有するプローブにおいて、

前記垂直プローブの一部が電気的に絶縁され、被検査半導体と接触する側の垂直プローブは少なくとも1つ又は2つ以上の水平梁と電気的に接続されて信号線導通部となるリンク

機構を有し、被検査半導体と接触する側の垂直プローブと電気的に絶縁される側の垂直プローブは他の複数の水平梁の接続部を含む非信号線導通部となるリンク機構を有し、前記垂直プローブの絶縁部分は強固な剛性を有する材質から成り、かつ、前記非信号線導通部と強固に接続することを特徴とする複数梁合成型接触子。